

平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月10日

上場会社名 OATアグリオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4979 URL http://www.oat-agrio.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 明平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(人事部、総務部、経理部、情報企画室管掌) (氏名) 一野 展久 TEL 03-5283-0262
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	9,518	8.5	2,212	4.7	2,221	7.0	1,535	9.1
29年12月期第2四半期	8,773	7.3	2,112	9.8	2,076	18.6	1,407	15.3

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 1,378百万円 (△2.3%) 29年12月期第2四半期 1,410百万円 (27.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	283.66	—
29年12月期第2四半期	285.43	270.62

(注) 当第2四半期連結累計期間において、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第2四半期	18,362	7,503	38.9	1,318.08
29年12月期	12,094	6,333	48.9	1,092.73

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 7,133百万円 29年12月期 5,914百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	36.00	36.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	36.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,290	8.3	1,913	1.7	1,895	0.3	1,311	1.0	242.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期2Q	5,536,000株	29年12月期	5,536,000株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	123,817株	29年12月期	123,693株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期2Q	5,412,261株	29年12月期2Q	4,932,376株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成30年1月1日～平成30年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益等の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、世界経済においては米国の保護主義的な経済政策への懸念や不安定な為替動向など、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような情勢のもと、当社グループは、国内外において、各製品の販売拡大のため積極的な営業活動を行ってまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は95億18百万円(前年同四半期比7億44百万円増加、同8.5%増)、営業利益は22億12百万円(前年同四半期比1億円増加、同4.7%増)、経常利益は22億21百万円(前年同四半期比1億45百万円増加、同7.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億35百万円(前年同四半期比1億27百万円増加、同9.1%増)となりました。

なお、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、国内農業事業を中心に需要の最盛期に当たり、売上高及び営業利益等が下半期と比較して多額となる傾向にあります。

当社グループはアグリテクノ事業の単一セグメントであります。各分野別の業績につきましては以下のとおりであります。

農業分野では、国内市場においては殺虫剤「ハチハチ」の出荷が前年と比較して減少したことなどから前年を下回りました。一方、海外市場においては殺ダニ剤「ダニサラバ」(シフルメトフェン剤)、殺虫剤「オンコル」、殺菌剤「カリグリーン」の出荷が前年と比較して増加したことなどから、前年を上回りました。そのため農業分野全体の売上高は72億73百万円(前年同四半期比5億8百万円増加、同7.5%増)となりました。

肥料・バイオスティミュラント分野では、国内市場において「養液土耕栽培システム」の出荷が増加したこと、また海外向けの「アトニック」の出荷が増加したことから、肥料・バイオスティミュラント分野全体の売上高は22億45百万円(前年同四半期比2億36百万円増加、同11.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は183億62百万円で、前連結会計年度末に比べ62億68百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加26億3百万円、受取手形及び売掛金の増加31億28百万円によるものであります。

負債につきましては108億58百万円で、前連結会計年度末に比べ50億97百万円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加54億86百万円、未払法人税等の増加3億24百万円によるものであります。

純資産は75億3百万円で、前連結会計年度末に比べ11億70百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加13億40百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は44億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億6百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、13億56百万円の支出(前年同四半期は5億66百万円の支出)となりました。主な収入要因は税金等調整前四半期純利益22億20百万円、仕入債務の増加3億93百万円等によるものであります。また、主な支出要因は売上債権の増加31億53百万円、たな卸資産の増加4億76百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億10百万円の支出(前年同四半期は66百万円の支出)となりました。主な支出要因は有形固定資産の取得による支出1億75百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、42億79百万円の収入(前年同四半期は5億81百万円の収入)となりました。主な収入要因は短期借入金の増加45億7百万円等によるものであります。また、主な支出要因は配当金の支払額1億94百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年2月9日の「平成29年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,958	4,561
受取手形及び売掛金	3,580	6,708
商品及び製品	2,329	2,378
仕掛品	377	785
原材料及び貯蔵品	812	816
その他	452	513
貸倒引当金	△31	△26
流動資産合計	9,479	15,738
固定資産		
有形固定資産	1,822	1,797
無形固定資産		
のれん	88	66
その他	104	92
無形固定資産合計	192	158
投資その他の資産	598	668
固定資産合計	2,614	2,624
資産合計	12,094	18,362
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,212	2,597
短期借入金	777	6,263
未払法人税等	366	691
返品調整引当金	19	16
売上割戻引当金	45	168
賞与引当金	35	39
その他	790	582
流動負債合計	4,247	10,359
固定負債		
長期借入金	1,000	—
役員退職慰労引当金	2	1
退職給付に係る負債	183	183
繰延税金負債	72	62
その他	254	251
固定負債合計	1,513	498
負債合計	5,760	10,858

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	461	461
資本剰余金	2,410	2,410
利益剰余金	3,229	4,569
自己株式	△161	△161
株主資本合計	5,939	7,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	△14
為替換算調整勘定	△36	△130
退職給付に係る調整累計額	△2	△0
その他の包括利益累計額合計	△25	△146
非支配株主持分	419	370
純資産合計	6,333	7,503
負債純資産合計	12,094	18,362

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	8,773	9,518
売上原価	4,615	5,047
売上総利益	4,158	4,470
販売費及び一般管理費	2,046	2,258
営業利益	2,112	2,212
営業外収益		
受取利息	10	8
受取配当金	3	3
助成金収入	6	—
為替差益	—	11
その他	10	4
営業外収益合計	30	26
営業外費用		
支払利息	18	16
為替差損	45	—
その他	1	0
営業外費用合計	65	17
経常利益	2,076	2,221
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
関係会社株式評価損	22	1
特別損失合計	23	1
税金等調整前四半期純利益	2,053	2,220
法人税、住民税及び事業税	637	676
法人税等調整額	14	13
法人税等合計	652	690
四半期純利益	1,400	1,530
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,407	1,535

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	1,400	1,530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△27
為替換算調整勘定	2	△126
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	9	△152
四半期包括利益	1,410	1,378
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,422	1,414
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	△36

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,053	2,220
減価償却費	101	115
のれん償却額	17	15
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△10	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3	3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12	△3
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△4	△2
売上割戻引当金の増減額(△は減少)	123	122
賞与引当金の増減額(△は減少)	△47	3
受取利息及び受取配当金	△13	△11
支払利息	18	16
為替差損益(△は益)	6	△10
固定資産除売却損益(△は益)	0	△0
関係会社株式評価損	22	1
売上債権の増減額(△は増加)	△2,553	△3,153
たな卸資産の増減額(△は増加)	374	△476
仕入債務の増減額(△は減少)	△312	393
その他	△78	△257
小計	△293	△1,024
利息及び配当金の受取額	12	11
利息の支払額	△14	△14
法人税等の支払額	△270	△329
営業活動によるキャッシュ・フロー	△566	△1,356
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	46	181
有形固定資産の取得による支出	△107	△175
無形固定資産の取得による支出	△6	△4
投資有価証券の取得による支出	△0	△102
関係会社株式の取得による支出	—	△15
敷金の差入による支出	△1	△3
その他	2	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	767	4,507
長期借入金の返済による支出	△25	△17
リース債務の返済による支出	△6	△3
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△147	△194
非支配株主への配当金の支払額	△6	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	581	4,279
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△61	2,806
現金及び現金同等物の期首残高	2,491	1,632
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,430	4,439

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、アグリテクノ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。